

節分の福豆の箱の中に小さいカードが1枚入っています。全部で11種類あります。書かれている言葉の意味をご紹介します。皆さんのカードにはどの言葉が書かれていましたか？

布施（ふせ）

あらゆる面から人のために尽くすこと。

友だちに何かを教えてあげる・相手を思いやる言葉をかける・笑顔を見せるなども立派な布施です。

持戒（じかい）

決まりや約束を守り人のために役立てるように努力していくこと。

忍辱（にんにく）

常に寛容な心を持つ。何事にも腹を立てたりせず、褒められても有頂天にならない平静な心を持つ。

精進（しょうじん）

自分が目指す目的や目標に向かって努力し続け、ひと筋に進んでいく。

禅定（ぜんじょう）

どんなことが起こっても、迷ったり動揺することなく、静かな落ち着いた心で物事を見ていく。心が静かであれば物事の本当の姿が見える。（静かな池の表面には、月がスッキリと映し出される。）

智慧（ちえ）

正しい物の見方、考え方、物事の本当の姿を見分ける力を身につける。

実生活の中で起こるさまざまな出来事を自己中心の心ではなく、相手の思いに立ち、人のために尽くすことで身につく力です。

慈悲喜捨（じひきしゃ）

慈・・・人を幸せにしてあげたいと思う心

悲・・・苦しんでいる人の苦を取り除いてあげたいと思う心

喜・・・人の喜びをともに喜ぶ気持ち

捨・・・人に施した恩も、人から受けた害も忘れ、一切の報いを捨て去る心

私たち一人ひとり誰にでも必ず宿っている心です。

和顔愛語（わげんあいご）

穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接するとお互いの関係を良い方向に導くことができます。

簡素（かんそ）

複雑でなく無駄は省くという今の世に生きる人間として大事なこと。
必要なことは何かを見極めしっかり目標を持って人生を生きる。

心田を耕す（しんでんをたがやす）

私たちが思いやりのある人間になるということ。温かい心、柔軟な心の持ち主になれるよう自分自身の心の田耕すこと。

一乗（いちじょう）

私たちは皆、同じ地球に生きる、同じ一つの乗物に乗っている仲間。すべての存在はみな尊くかけがえのないもの、だからこそ、心おおらかに、互いを認め合い、協力して生きていこう。

創立者 庭野日敬先生の一生を象徴する言葉です。